

# 障害者自立へ拠点一新！

阿蘇市の作業所「夢屋」新築移転

障害者の自立を支援す

る小規模作業所「夢屋」

の移転に伴う開所式が七日、阿蘇市蔵原の新しい

作業所であり、関係者が

門出を祝った。

手作りパンの販売に取り組んでいる夢屋は、一



九九六（平成八）年に同

市一の宮町宮地にオープンした。旧作業所は所有

者に返すことになったため、移転が決まった。

新しい作業所の土地

は、夢屋を運営するNP

O法人「夢屋プラネット

ワークス」副理事の竹原

ナホ子さん（五〇）の父竹原

幸範さん（九〇）が無償で提

供。代表の宮本誠一さん

（四〇）の友人で、解体材の

再利用に取り組む建築士

の波佐間法男さん（五七）が

施工を手掛けたこともあって、総工費は五百五十万円で抑えられた。

宮本代表は「夢を持ち

続ける仲間が一つになっ

てできた大切な作業所」と喜ぶ。

と喜ぶ。

木造平屋建てでロフト付

きの約六十平方メートル。自然

光を取り入れるための窓

を南側に三カ所設置する

など、明るく温かな造り

になっている。

開所式には、利用者ら

約三十人が出席。利用者

が歌やピアノでオリジナル

曲を披露し、喜びを分かち合った。（岡恭子）

移転した小規模作業所「夢屋」 阿蘇市